

# スタッフ総勢400人

## バックステージ③

22

ドリームパワー

# Dream Power ジョン・レノンスーパーライブ

世界の子どもたちに学校を贈ろう!



コンサートまであとわずか。スタジオでのリハーサルの最終日。オノ・ヨーコさんを囲んで、バンド・メンバーと主要スタッフ

ドリーム・パワー・コンサートを裏で支えるさまざまなチームを前回は紹介しましたが、コンサートにはほかにもいろいろな仕事があります。

ミュージシャンのみなさんが使う楽器を準備し、最高の状態で演奏できるように調整する楽器チーム。必要な機材、楽器、道具などを会場に運ぶトランポ・チーム。

コンサートに必要なものに電気がありません。あまり知られていませんが、電源を確保するチームもあるんです。電源車という発電機を積んだ車を用意して、コンサートに必要な電気を発電します。

ほかにも出演者やスタッフの飲み物や食べ物を用意するケータリングという仕事もあります。お客さんが、安全に入場してコンサートを楽しめるようにしている会場整理係や、もし具合が悪くなってしまう人が出たときに対応する

看護師さんもいます。

舞台を作ったり、グッズを売ったりするアルバイトの数を入れると、スタッフの数は合計で400人ぐらいになります。ひとつのコンサートを作るのにこれだけの人が関わっているのには、びっくりしますよね。

いよいよコンサートの日が近づいてくると、リハーサルが始まります。実際のステージと同じくらいの大きさのスタジオを使って、本番さながらに出演者が演奏したり、歌ったりします。その間、各チームは一人一人の出演者に合わせて、どういう照明にするのか、どういう映像にするのかなど、細かく決めていきます。

出演者によって、ジョンの曲はいろいろな形に編曲されます。それに合わせたり、試行錯誤しながら、バンドも練習をしていきます。リハーサルが終わると、実際のコンサートの時間が決まってくるわけです。

さて、本番まで一週間が迫ると、スタッフたちは会場となる日本武道館で打ち合わせます。これを「小屋打ち」といいます。今まで会議やリハーサルで決めてきたことが、本当に日本武道館でできるのか、最終確認をします。

さあ、これが終わるといよいよ本番を迎えるだけです。

(ドリーム・パワー ジョン・レノン音楽祭事務局・浜田哲朗)